

富士見市中期基本計画市民検討会議会議録（第4回）

日時：平成25年4月9日(火)
午後7時～9時30分
場所：第1会議室

出欠状況

委員長					
新井	岩田	加光	加藤	川上	齋木
○	○	○	○	○	○
関根	田尻	藤橋	南	横山	吉崎
○	○	欠	○	○	○
検討委員会委員		教育部長			
事務局（政策企画課）		総合政策部長、課長、副課長、寶田			
傍聴者		3名			

内 容

1 開会 政策企画課長

2 委員長あいさつ

3 内容

(1) 前期基本計画第3章の進捗状況・課題等の確認・検討

- ・資料に基づき、事務局から説明をした後、検討委員会委員（以下、庁内委員）より補足説明

○ 意見等

<第1節 人権の尊重>

委員：市民意識調査では、男女共同参画の社会づくりについて5割以上の方が「わからない」と回答し、一方、広報ふじみについては、「わからない」はわずか5%となっている。このように「わからない」が多いこと自体、課題と思う。市民にわかりやすく周知や啓発をお願いしたい。

委員：このことは、労働環境や家庭事情など社会を取り巻く様々なことが要因となっていると思う。

事務局：男女共同参画の推進は、地道に取り組んでいく必要がある。学校教育でも取り組んでいるが、社会に出て行くと、様々な事情で困難な面が生じることもある。例えば、市役所でも女性管理職の登用を進めているが、個々人の事情等もあり、十分な状況とはいえず、課題はあると認識している。

委員：(5) 多文化共生に関してだが、NPO 法人ふじみ野国際交流センターでは、外国籍の子どもに日本語教育をしている。これにより、外国籍の子ども達にとっては、日本語学習はもとより、日常生活へ良い効果を生んでいるものと思っている。

運営にあたっては、県補助を受けているが、来年度は補助がなくなる可能性がある。今後も行政側の支援が必要だと思っている。

事務局：以前の会議でもご意見いただいたことであるので、改めて具体的な取組みについて教えていただき、行政としてできることは何かを考えさせていただきたい。

委員：外国籍の子どもは何人位いるのか。

庁内委員：手元にデータはないが、各学校に5人程度いる。

<第2節 生涯にわたる学習・教育環境の充実>

委員：社会教育委員をしているが、以前、公民館等のサークル団体にアンケートをしたところ、40～50歳代の方の参加者が非常に少なく、後継者の観点からも課題と認識したところである。また、これまでも、生涯学習情報提供の充実を求めてきたところであるが、市民意識調査の「生涯学習の推進」の不満な理由をみると「利用申込みの方法がわからない」の回答が多かったので、今後も情報提供の充実に努めて欲しい。狭山市では、市民交流センターで、生涯学習情報が一元的に情報提供されており、参考になると思う。

庁内委員：公民館だよりを昭和50年代から、市民編集委員により発行していることは、特徴的なことであり、交流センターも情報提供は行っている。これらの情報の集約化、迅速化について職員間で検討している。

委員：40歳代などの関心を寄せてもらう試みが必要と思う。駅や駅周辺での情報提供ができれば効果が期待できると思う。また、市民意識調査の「多様な学習活動・交流の推進」の不満な理由では、「参加したい講座等が少ない」の意見も多く、時勢にあった講座を提供していくことは重要と思う。出前講座では、防災関係の講座が人気があるし、防災関係のシンポジウムでは多くの参加者がいた。

委員：少子高齢化の進行を踏まえ、学校施設等の有効活用を検討してほしい。管理上の問題等をクリアしなければならぬのだろうが、例えば、放課後児童クラブでは午前中の空き時間を子育てサークルに利用してもらうことはできないものかと思う。

庁内委員：学校教育に支障のない範囲で、校庭や体育館の使用は可能となっている。また、水谷東小は、陶芸窯や和室を利用できるようになっている。

委員：諏訪小では空き教室を利用して、デイサービスが設置されている。デイサービス利用者の状況もあるだろうが、可能であるなら子どもたちとの交流を進めて欲しいと感じる。また、児童・生徒数が減少し、空き教室が生じていけば、防犯を考慮し、1階を大人が利用する用途にし、2階以上を教室とすることも考えられなくはないのではないか。

委員：市でフェイスブックを利用したコミュニケーションを始めてはどうか。世代を

超えて、交流したり、情報発信の有効な手段となると思うので、是非検討して欲しい。

また、中央図書館の入口のスペースの一部を情報コーナーにするなどの有効活用を検討して欲しい。また、読み聞かせなどをする親子スペースも多少の飲食を可とすることで利用しやすくなると思う。

庁内委員：図書館の入口スペースは、市民の皆様の作品展示スペースとして、また児童コーナー奥には、親子読み聞かせスペースがあり活用されている。

委員：フェイスブックは40歳代等の行政への関心を高めるための手段として有効と思う。また、20歳代等のさらに若い世代が早くからこうしたツールを通じて行政に関心を持てればよいと思う。また、資料に公民館講座等の参加状況があるが、市民が主催の事業が多くなることが理想だと思う。

委員：交流センターと公民館は、所管はそれぞれ市長部局と教育委員会だが、これらのネットワーク化が重要と思う。

庁内委員：市民の皆様の学習要求は様々である。それに応える施設として教育機関の公民館、交流・集会施設の交流センター、コミュニティセンターがある。学習を通じて人と人とが交流するなど共通点も多くあることから、施設提供や事業の効率化のために各施設の長によるネットワーク会議を持つなど情報共有を図っている。

<第3節 市民文化の創造>

委員：よい取り組みをしていると思うがこうした情報が市民になかなか伝わっていないと感じる。ブラボーオーケストラのテレビ放映もオンデマンドで知った。

委員：キラリふじみの自主事業入場者数の平成23年度が減少しているがなぜか。

事務局：震災の影響が大きいと思う。

<第4節 スポーツ・レクリエーションの推進>

委員：市民総合体育館のメイン及びサブアリーナに空調を整備できないか。特にサブアリーナは窓での通気が取りにくく暑い。三芳町は空調が整備されている。

庁内委員：空調整備は、多額な費用がかかるので検討事項としたい。

委員：スポーツ振興計画とはなにか。

庁内委員：スポーツ基本法に基づくもので、全ての市民がスポーツに親しめるよう必要な施策を定めることなどを考えている。富士見市教育振興基本計画の計画期間(平成25~29年度)中に策定できればと考えている。

委員：講習会などの利便性や設備も良いため、三芳町の体育館を利用している。指定管理者の努力や行政のバックアップなどにより体育館の管理運営の充実を望む。また、市民総合体育館では、ハンドボールの公式戦が行われたが、プロの技術等を直接見る機会は貴重であると思うので、プロバスケットや車椅子バスケットなどの開催を誘致し、市内外の関心を得られるような取り組みも期待したい。

庁内委員：より魅力があり、利用しやすい施設とすることは、市民サービスの向上に繋がり、また、利用者や入場者が増えることは、指定管理者側にもメリットがある

ので、本市も参考にしていきたい。また、プロ級選手のプレーを目の前で観戦することは教育的にも大切な機会と考える。平成 26 年 5 月ごろに卓球の公式戦開催が予定されているため、今年度メインアリーナの照明器具の更新を予定している。

委員：富士見市発祥のスポーツであるバドテニスの小中学校の授業で行うことや積極的な PR をしてはどうか。また、ガーデンビーチで一流の方の泳ぎを見せたりすることで、子どもたち等に興味を抱かせることができるのではないかと思う。市内に車椅子バスケの選手がいると思うのでそうした方の協力を得た催しなどもよいと思う。

<第5節 文化財の保存と活用>

委員：鎌倉道の保存策を伺いたい。

庁内委員：プレート表示する取組みは行っている。

委員：駅前広場などに市の案内看板があるが、これに文化財スポットや湧水の情報などをパソコン打ち出したものを貼り付け、明示することで、費用をかけずに PR ができると思う。

委員：水子貝塚公園は、国の指定史跡なので、この資源を活用した地域活性化を、NPO をつくって取り組めれば、来訪者の増加が期待できると思う。

委員：行政にやってくださいというのもよいが、市民主体で活動することが重要だと思う。

委員：郷土伝統芸能の保存が A 評価となっているが、南畑八幡神社獅子舞は、後継者不足が大きな課題となっている。市の有・無形文化財の継承は課題であると思う。また、新河岸川の旧川も後世に残していければと思う。

庁内委員：市内の文化財の保存、継承は重要である。活用も大切で、市制 40 周年記念事業として難波田城公園の古民家において昭和 40 年代の結婚式を市民の皆さんの協力で再現できた。市内の伝統芸能に触れ、理解を深めることは後継者問題にもつながることから、学校でも取り入れている。

(2) 次回以降の会議日程について

5月 2日(木)午後7時00分 市長公室

5月15日(水)午後7時00分 市長公室

4 閉会 総合政策部長